



# レインボーネット Rainbow Net

## れいんぼーTopics



### グループホーム 「うららか」開所しました!

山田町において、日中サービス支援型共同生活援助事業所が開所しました。代表の鈴木貴雅さんより、以下のコメントをいただいております。

『のんびり、心地よく、自由に』をモットーに、春の空が晴れて日が柔らかくのどかな日和のような生活の場を目指しています。

利用者の皆様が入居されて1カ月が経ち「家に帰りたいバカヤロー」「病院の方がよかった」とおっしゃる方もおられますが、「ここではこんなこともしていいですね」「オムツじゃなくトイレで排泄ができる」など、利用者の皆様の思いや希望に寄り添う事も出来ているように思えます。

まだ、利用者様も職員もバタバタしていて「のんびり、心地よく」とはいきませんが、地域のニーズに応え当事者の方々の居場所となるようなんびり精進していきます。  
(担当：佐々木)

### 目次 CONTENTS

● れいんぼーTopics .....	1	● 令和4年度事業計画・予算・新任職員紹介 .....	7
● 新年度にあたって .....	2	● こんにちは、「地域活動支援センターみやこ」です! .....	8
● 事業クローズアップ! .....	3	● はあとふるVoice (当事者の声) .....	9
● Report!「福祉の現場から」 .....	4~5	● なんでもKEIJIBAN、編集後記 .....	10
● 令和3年度事業報告・決算 .....	6		

## 穏やかな日々に向かって

宮古圏域障がい者福祉推進ネット

事務局長 戸田 忍

木々の若葉が色鮮やかな頃、ますますお健やかに過ごしてのことと思います。時折の暑さが夏の兆しを感じさせます。

新型コロナウイルスの感染拡大はとどまることを知らず、世界、国内、県内においても依然として厳しい状況が続いています。また、まさかのウクライナ侵攻が起こるなど、平和を維持することの難しさを、そして日々が平穏であることのありがたさを実感する今日この頃です。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響により、相談支援や地域活動支援センターなどの活動を制限することがあり、利用者の皆様にはご不便をお掛けしました。

今後このような状況は、大小のうねりをもって続いて行くものと予想されますので、今年度も行政とも協議しながら、また、工夫をしながら事業に取り組んで参りたいと考えますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

さて、今年度の職員体制ですが、若竹会の事業再編により職員3名が

3月末で若竹会に戻り、レインボーネットは4月から新たなスタートを切りました。

大きな異動になりましたが、昨年の半ばから職員を追加し、また事務の内部調整を進めるなど対応を進めてきています。

また、職員数も前年度と同数を維持するなど、これまでと同様の相談支援を持続できるものと思っています。

昨年度の事務事業につきましては、新型コロナウイルスによる4月理事会の縮小開催、総会の書面表決、また、自立支援協議会や専門部会の参集形式開催、地域活動支援センター事業の一部自粛などがありました。年間を通しては概ね実施することができたものと考えております。

活動状況につきましては、中心に「基幹相談支援センター事業」があります。

基幹相談支援センターとは、地域における相談支援の中核的役割を担う機関として、総合的な相談業務の実施や地域の相談支援体制の強化の取り組み等をおこなうもので、宮古圏域の自治体から委託を受けて実施しています。

その役割として「①総合的・専門的な相談支援の実施」「②相談支援体制の強化」「③地域移行・地域定着の推進」「④権利擁護・虐待の防止」を掲げています。

レインボーネットの根幹は「相談支援」にあります。

「①総合的・専門的な相談支援の実施」において、昨年度は年間14,743件、一日平均42件の相談支援を行いました。

相談支援において職員は利用者の方々に丁寧な対応を心掛けています。また、的確な支援の実現に向け、職員は個々の資質の向上を図るべく、相談支援の研修や障がい特性の理解のための研修に積極的に参加し、知識と技術の習得に努めています。

また、利用者のよりよい方向性を見いだせるよう、相談支援の理解を促進する目的をもって、関係機関に講師を派遣するなど、相談支援体制の強化を図っています。

また、レインボーネットは多数の相談員を有しているところが強みであり、厚い経験値が様々な困難ケースの解決に繋がっているものと思っています。

今年度の事業計画につきましては、重点項目として、「①地域の相談支援体制の連携・強化」、「②障がい者の権利擁護の推進及び普及啓発」、「③障がい者の地域移行の推進と地域包括ケアシステムの構築」、「④地域生活支援拠点整備の構築」、「⑤二一ズに対応した地域活動支援センターの取組み」の5項目を掲げています。

特にも、項目④につきましては、障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、緊急時の受入れ等

ができるよう、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障がい者の生活を地域全体で支える体制を構築するもので、自立支援協議会と連携して取り組んでまいります。

新型コロナウイルスの一日も早い収束、そして世界の平和、日々の平穏を願いつつ、レインボーネットは、職員一人一人が真摯に仕事に向き合い、利用者の皆様が穏やかに安心して生活ができるよう今年も努めて参りたいと考えます。

今後とも皆様方の一層のご指導とご支援、ご協力をお願い申し上げます。



事業

# CLOSE UP!

クローズアップ

「成年後見センター開所」  
権利擁護支援の推進を  
図っていきます!

宮古圏域成年後見センター  
所長 佐々木 睦子

『終活』というワードが生まれてから十年以上が経過しました。一時は流行語大賞もとったほどブームになったワードです。一方、成年後見制度が始まったのはそのさらに十年以上前になります。今では『終活』と検索すると「成年後見制度」の内容が書かれているのをよく目にします。この「終活」が、なぜこれほどまでにブームとなったのかは、少子高齢化、家族形態の変容等の社会的背景と意識の変化が関係しているようです。「家族に迷惑をかけたくない」といったことや東日本大震災の影響もあると。そして今、私たちは「コロナ」という新しいウイルスと共存する方法を模索しています。

私たちの生活様式はその時代とともに変遷し、その中でそれぞれの価値観を見出し、それぞれの幸せを追求してきました。皆さんは、暮らしの中でどんなことに幸せを感じ、どんな価値観を大切にしていますか？ そのなかでどのような生活を送りたいと考えていますか？ また、自分が大切とする人はどうでしょうか？

さて、前置きが長くなってしまいました。この四月から宮古圏域成年後見センターが関係機関のご尽力により開所する運びとなりました。当センターの設置に関しましては自立支援協議会でも以前から議論を重ねてこられたところであり、会の皆様のご尽力にこの

場をお借りし深く感謝申し上げます。

第二期成年後見制度利用促進基本計画には、サブタイトルに『尊厳のある本人らしい生活の継続と地域社会への参加を図る権利擁護支援の推進』と掲げられました。利用促進計画とあると、どんな成年後見の利用を増やしていくことを目的としていると捉えられがちですが、この意味するところは、サブタイトルにもある本人が望む本人らしい生活を送ることができるよう権利擁護支援の推進を図っていくことです。これは、地域共生社会の実現に向けた取り組みでもあり、また副題の『地域社会への参加』の視点は、障害者権利条約第十九条を参照にしたものです。

この利用促進計画に基づき、本人の権利擁護支援を推進するために中立、公正な立場で成年後見制度に関する総合的な相談窓口となるのが私たち中核機関の役割です。また、本人にふさわしい成年後見制度の利用にむけて本人を中心とした多様な支援者のチームをつくり、本人を後見人とともに支える支援をサポートします。そして、この制度がサブタイトルのとおり利用されるよう専門職団体や関

係機関など多様な主体と理念を共有し、私たちの地域における課題、調整、解決にむけた検討を継続的に協議する場の事務局機能を担います。この地域連携ネットワークが持続可能な形でその役割を果たせるようにするための進捗管理とコーディネート機能が中核機関の重要な役割であり、そのためにも成年後見制度の正しい理解を広めるための広報・啓発活動も行っていくきます。

センターとしてまだまだ微力ではありますが、誰もが個人としての尊厳を確保され、住み慣れた地域で自分らしく日々の暮らしを送れるよう、皆様とともに進めてまいりたいと思います。よろしくお願いたします。



# 「福祉の現場から」

## Report1

### 自分らしい穏やかな生活を支援していきます！

新たな郷わかたけ 障がい者支援施設 『かあむ』 所長 山木一英

はじめに、関係市町村等のご協力のもと、児者一体型の入所施設、新たな郷わかたけを開所することができました。御礼申し上げます。

障がい者支援施設は、「かあむ」という名称で「かあむ」とは、「穏やかな」「波もなく静かな」「心やすらぐ」という意味があり、利用する方々が自分らしく穏やかに生活を送ってほしいとの思いから名づけました。定員40名で男性22名、女性



居室・電動介護用ベッド

18名の2ユニット（2名1部屋）、短期入所は定員4名で個室を利用して頂きます。対象とする利用

者は、高齢の障がい者、車椅子等使用している方です。現在の利用者の平均年齢は男性利用者で、60・2歳、女性利用者は65歳。最高年齢は78歳となっています。

高齢者を主に対象としていることから居室には、電動の介護用ベッドを用意し移乗などしやすいようにしました。浴室は2つ、通常の浴室と特殊浴槽を用意し、椅子に座ったまま入浴できるように整備しています。このように高齢者施設に近い設備を整えました。

職員についても、高齢者施設経験者を多く配置しています。

いま抱えている課題は、日中活動のメニューをどのように組み立てていくかです。利用者の皆さんが、楽しんで、身体機能の維持ができるようなメニューを検



浴室



特殊浴槽

討し、どのようにすれば提供できるか模索しております。しかし、現実には、日課が整理できていないことで、時間に振り回され、理想通りには進んでいません。

開所から、あっという間に2カ月過ぎようとしています。まだまだ適切なサービスが提供できているとはいえませんが、少しでも早く利用者の皆さんが楽しく、快適に生活できるように職員一丸となって頑張っていますので、よろしくお願ひいたします。

最後に、おもしろい日中活動の取り組みがありましたら、教えてください。よろしくお願ひいたします。



# Report!

## Report2

# 子どもたちのすこやかな成長を支援していきます!

新たな郷わかたけ ことども部門 『らいず』 所長 高屋敷 大助

岩手県沿岸知的障害児施設組合はまゆり学園より、事業を引き継ぎ、令和4年4月1日から、新たな郷わかたけことども部門「らいず」を開所することができました。関係市町村をはじめ、各関係機関のみなさま、開所に向けてご尽力くださり、改めて感謝申し上げます。

「らいず」という名称は、「昇る、高める、育つ」という意味があり、利用することともに水平線から昇る朝日のように成長してほしいとの思いが込められています。この名称のように、入所児童の健やかな成長を支援していく所存です。

供する施設なのかということですが、障がいのある児童が入所し、自立に必要な知識や技能を習得するために必要な支援を提供する施設となります。このような施設は、福祉型障害児入所施設と呼ばれます。岩手県内には「らいず」を含めて4ヶ所、福祉型障害児入所施設があります。

構造についてですが、児童が居住する空間は2つのユニットで構成されています。それぞれのユニットにはキッチンと浴室が備えられ、男性ユニット8名、女性ユニット8名の計16名の定員で全室個室となります。入所生活を通して、自立した生活に必要な力が身につくような支援の提供はもち

ろんのごと、さまざま、運動器具や遊具を活用し、楽しみながら入所児童の成長を促します。

地域との連携については、宮古恵風支援学校への通学

支援やケース連絡会を通して入所児童の情報共有を、また、必要に応じて各関係者との連絡調整から入所児童を包括的にサポートできるよう努めております。日中一時支援、短期入所支援などの在宅サポートの受け入れも準備をしているところです。

開所し、約2ヶ月が経過しました。まずは、事故のないこと、入所児童が施設の環境に慣れ、安心して生活できること、この2点を重点課題として運営してきました。今後は、地域内のニーズに応える児童入所施設を目指していきたいと思っております。引き続き、よろしくお願い致します。



居室



機能訓練室



スノーズレン



令和3年度 事業報告・決算

Ⅰ 法人運営の状況

- 正会員 97人 (団体)
○正会員 67人 (個人)
○賛助会員 26人 (団体)
○個人会員 20人 (個人)

- 総会 (一回開催)
○理事会 (4回開催)
○運営委員会 (3回開催)
○会計監査 (4回開催)

障がい当事者・家族・関係機関・地域住民の親睦を深める事業の実施
○人づくり・地域づくり関係職員等研修講座
7月27日 うみまちはろば 参加者31名

○はあとふるフェスタ2022〜ともに生きる社会〜
1月22日 イーストピアみやこ
内容：①障がい者アート移動展示会「るんびにい美術館作品や宮古圏域内の活動作品の展示」

②障がい者アートの講演と実践「出会い授業」
ライブ中継、Zoomオンライン配信
講師：アーティスト 小林 寛氏
アートディレクター 板垣崇志氏

Ⅱ 受託事業の実施状況

■ 基幹相談支援センター事業

- 総合的・専門的な相談支援の実施
①相談支援の状況
・年間相談支援延べ件数 4,743件
(※前年度14,307件)
②支援会議の開催

○地域の相談支援体制の強化の取組
・基幹相談支援センター等機能強化事業

- ①宮古圏域障がい児・者相談支援連絡会議の開催
・6月25日 圏域の相談支援事業所にて、相談支援の課題等を聞き取りし、情報共有を図る

- ②若手県内基幹相談支援センター連絡会の開催
・12月10日 矢野町公民館
県内の基幹相談支援センターが一堂に会し、日頃の業務や課題を確認し情報交換を行う
③基幹相談支援センター多職種参加型事例検討会の開催
司法、医療、福祉分野等の多職種がそれぞれの視点から意見を出し合い、連携強化を図る

- 地域移行・地域定着の推進
①地域生活移行の状況

- ・福祉施設、病院及び圏域外からの地域移行者の状況6名
②住宅入居等支援事業(居住サポート事業)
・相談支援延べ人数95人
・単身生活希望者との不動産業者との情報交換会の実施
○権利擁護・虐待の防止(障害者虐待防止センター事業)
虐待防止等に関する広報その他啓発活動
・6月23日 わかたけ学園職場研修 参加者12名
・8月26日 松山荘職場研修 参加者16名

■ 宮古圏域障がい者自立支援協議会事務局運営事業

- 宮古圏域障がい者自立支援協議会
(2)開催 うち一回は書面による意見聴取
○専門部会の開催
・実務担当者会議 (8回開催)
・生活支援部会
・権利擁護部会
・精神保健部会
・発達支援部会
※4部会にて5回開催 うち2回は書面による意見聴取

■ 地域活動支援センター事業(基礎的事業及び機能強化事業)

- 年間の延べ利用者数 1,978人
(※前年度 1,265人)
○活動開催回数(25回) (前年度23回)
○運営会議の開催 (5回開催)
○地活だよりの発行 (毎月150部)

■ 若手県地域生活支援広域調整会議等事業(若手県からの受託事業)

- 地域委員会の開催 (2回開催)
Ⅲ 自主事業の実施状況
■ 特定相談支援事業
○計画相談支援 契約件数 600件
○計画作成 件数 508件
○モニタリング 回数 1,901件
○障害児相談支援 契約件数 24件
○計画作成 件数 23件
○モニタリング 回数 76件

■ 一般相談支援事業

- 地域移行支援 契約件数 0件 (7件契約中、5件地域移行で解約 2件は移行せず解約)
○地域定着支援 契約件数 1件
○障害支援区分認定調査事業(県内市町村からの受託事業)
○宮古圏域 85件 ○圏域外 0件

■ 高次脳機能障がい者支援事業

- 連絡会の開催
・12月6日 うみまちはろば 相談や支援に関わる関係機関
○若手県高次脳機能障がい者支援事業連絡協議会への出席
・3月29日 Zoom開催(いわてリハビリテーションセンター)

■ 医療的ケア児等支援事業

- 家族懇談会の開催
・7月5日、7月6日
○短期入所の実施
・医療的ケア児の短期入所を「老人保健施設ほほえみの里」にて計6回実施
Ⅳ 障がい者の社会参加の促進・地域福祉の充実発展に寄与する事業
■ 広報・啓発活動の実施
○機関紙「Rainbow Net」の発行 (2回/第32号、第33号)
○ホームページによる情報提供

■ 研修会等の実施

- 宮古圏域発達支援セミナー
10月24日 Zoom開催 72回線 視聴者85名
内容：不登校と心きこも承認につなげる対話的支援
講師：筑波大学 医学医療系社会精神保健学教授 斎藤環氏
○宮古圏域障がい者グループホーム支援者研修会
1月12日 イーストピアみやこ 参加者20名
内容：講義「ストレスケアについて」
講師：宮古市保健課 八巻愛美氏 グループ討議

■ 地域懇談会の開催

- 宮古市(宮古第一中学校) 9月28日 参加者112名
第一部 講話「障がいってなんだろ」
第一部 体験学習・ポッチャ、卓球パレー、白杖・障がい体験テスト

Ⅴ その他の目的達成のために必要な事業

- 障がい当事者団体等ネットワークとの連携
■ 宮古圏域障がい当事者団体等ネットワーク会議の開催
・第1回 6月24日開催
・第2回 2月24日書面開催

■ 職員の研修受講状況

- 相談支援従事者初任者研修
○障がい特性の理解に関する研修
○ひきこもりに関する研修
○自殺予防策に関する研修
○地域の相談支援体制の強化に関する研修
○地域移行・地域定着に関する研修
○権利擁護・虐待防止に関する研修
○高次脳機能障がい者支援に関する研修
○医療的ケア児等支援に関する研修

【レインボーネット 令和3年度決算報告】

●活動計算書

●貸借対照表

Table with columns: 科目, 金額, 経常収益, 経常費用, 経常費用計, 当期経常増減額, 固定資産除却損, 税引前当期正味財産増減額, 法人税・住民税及び事業税, 当期正味財産増減額, 前期繰越正味財産額, 次期繰越正味財産額

Table with columns: 【資産の部】流動資産, 現金預金, 未収金, 前払費用, 立替金, 固定資産, 什器備品, 退職給付引当資産, 【負債の部】流動負債, 未払金, 預り金, 未払法人税等, 固定負債, 【正味財産の部】前期繰越正味財産額, 当期正味財産増減額, 正味財産合計, 負債及び正味財産合計

# 令和4年度 事業計画・予算

NPO法人宮古圏域障がい福祉推進ネット（レインボーネット）では、障がいをお持ちの方の豊かな暮らしの実現に向けて、今年度も各種事業に取り組みます。

## 【重点項目】

◎計画相談支援等を推進するため、基幹相談支援センターとして地域の相談支援体制の連携強化に努めます。

◎障害者虐待防止法、障害者差別解消法などの趣旨を踏まえ、障がいの権利擁護の推進、普及啓発に努めます。

◎入所施設や精神科病院からの地域移行を推進するとともに、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に努めます。

◎障がいの重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた居住支援のための機能として、面的整備と多機能整備を組み合わせた体制を構築し、緊急時受入等の取り組みの推進に努めます。

◎地域活動支援センター事業の充実を図るため、市町村や当事者のニーズに対応した取り組みの推進に努めます。

### 【1法人運営の関係】

(1) 法人の公正中立で適正な運営に取り組みます。

- ・総会（1回開催）
- ・理事会（2回開催）
- ・運営委員会（2回開催）
- ・会計監査（4回実施）

(2) 会員等に対する情報発信に取り組みます。

- ・ホームページを活用した情報提供
- ・機関紙「Rainbow Net」の発行（2回）
- ・地活だより、各種イベントチラシの配布

### 【2受託事業の関係】

(1) 宮古圏域4市町村から委託された宮古地区地域生活支援事業等を適切に実施します。

1 基幹相談支援センター事業

- 総合的・専門的な相談支援の実施
- 地域の相談支援体制の強化の取組
- 地域移行・地域定着の推進

- 権利擁護・虐待の防止

2 地域生活支援拠点事業

- 基礎的事業
- 機能強化事業

(2) 宮古圏域障がい者自立支援協議会の適正な運営に取り組みます。

- ・圏域協議会、実務担当者会議、生活支援部会、権利擁護部会、精神保健部会、発達支援部会の定例会の開催

※各部会において、研修会やセミナー及び地域懇談会を開催します。

(3) 岩手県から委託された岩手県地域生活支援広域調整会議等事業を適切に実施します。

- ・地域委員会の開催
- ・地域生活支援セミナーの開催

### 【3自主事業等の関係】

(1) 計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援、地域定着支援、障害支援区分認定調査に取り組みます。

## 【令和4年度・活動予算書】

収益の部		(単位：千円)
科目	金額	
受取会費	240	
受取寄附金	0	
受取助成金等	0	
事業収益	99,050	
宮古地区地域生活支援事業等	65,500	
相談支援事業	33,000	
認定調査事業	400	
地域生活支援広域調整会議等事業	150	
その他収益	20	
経常収益計①	99,310	

費用の部		(単位：千円)
科目	金額	
事業費	91,605	
人件費	67,917	
その他経費	23,688	
管理費	7,705	
人件費	3,339	
その他経費	4,366	
減価償却費	0	
経常費用計②	99,310	
当期正味財産増減額③ = ① - ②	0	
前期繰越正味財産額④	38,985	
次期繰越正味財産額③ + ④	38,985	

- (2) 障がい当事者・家族・関係機関・地域住民の親睦を深める事業
  - ・はあとふるフェスタ2022の開催
- (3) 障がい者の社会参加の促進・地域福祉の充実発展に寄与する事業
  - ・障がい当事者の創作活動の作品展示会等の開催
  - ・出前授業等の実施（圏域内の小・中・高校生等を対象に、障がい理解をテーマに市町村と連携し実施）
- (4) 各種ネットワークの拡充と連携強化に努めます。
  - ・障がい当事者団体等ネットワーク、障がい福祉サーブिस事業者連絡会との連携を強化します。
- (5) 高次脳機能障がい者支援事業
  - ・連絡会を開催します。

# 新任職員紹介 よろしくお願ひします!

八木澤 清美 さん

4月からレインボーネットに勤務してから、あっという間に2ヶ月が経ちました。福祉関係の仕事は初めてで、緊張と戸惑いがありました。関係機関の皆様や職員の方々があたたかく迎え入れてくださり、毎日楽しくお仕事をさせて頂いています。また、関係機関の皆様にご協力とご助言を頂きながら、色々な経験を積んで成長出来ればと思っています。笑顔を忘れず、少しでも早く仕事に慣れるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。



芳賀 美子 さん

初めての福祉の仕事に戸惑う事が多く毎日が勉強の日々ですが、周りの職員や利用者の方々に支えられ何とか業務に励んでいます。地域活動支援センターの活動で利用者の方々と色々な交流をし、自分自身の勉強になることが多いです。地域活動支援センターの活動を通して利用者の方々のよりよい生活の一助となれるよう、微力ながら業務に励んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

# こんにちは、「地域活動支援センターみやこ」です!



「地域活動支援センターみやこ」では、障がい者等(身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及び難病等)を対象に、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上、社会との交流の促進を目的に、創作的な活動、SST(社会生活技能訓練)・ピアカウンセリング等の活動、各種サークル活動を行っています。また、専門の職員を配置し、医療・福祉および地域の社会基盤との連携強化のための調整、ボランティアの育成、障がいに対する理解促進を図るための普及啓発事業を実施しています。

## 地活センター、

## コロナに負けず活動始動!

新型コロナウイルスの影響を受け丸2年、今年度は3年目となりますが、感染症対策をしながら活動提供を継続しています。皆さんの活動場所や居場所を、これからも継続できるように、スタッフ一丸となって取り組んでまいります。

4月から若竹会の事業編成もあり、はあとふるセンター2階の一室を、地域活動支援センターみやこの活動室として利用できるようになりました。広く場所を確保できるため、これまでより活動人数を増やして活動できます。

今年度も様々な活動を提供し、皆さんが楽しく安心して利用できる場を提供していきますので、よろしくお願いたします。たくさんの方の参加をお待ちしております。

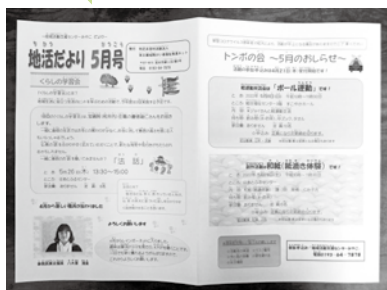
### 地活の感染対策

- 活動室のこまめな換気
- マスク着用、検温と消毒の徹底
- 飲食を伴う活動の取り止め



※今後の感染拡大状況によっては、予定の活動を中止することもあります。

毎月発行する「地活だより」でご案内いたします。



【地活だより5月号】

### 今年度の活動計画を一部紹介

#### ◆「趣味サークル」

簡単なお菓子作りを中心に、参加者同士楽しく交流しています

#### ◆「いやしの部屋」

ハンドマッサージ、ヨガ、ポップリ作りなど、癒しの時間を提供します

#### ◆「ナイスフレンドの会」

卓球、スカットボールなどの軽運動で交流し、楽しみながら体を動かしています



## はあとふるギャラリー

### 【いやしの部屋】

ろうそく、ドライフラワー、アロマオイルを使って、アロマオイルサシェを作りました!アロマオイルの香りに癒され、和やかな時間でした(\*^\_^\*)



### 【サテライト活動】

遠方の地域に出向き、定期的に活動を提供しています。パステルアートは色味が淡く可愛らしい仕上がりとりました。

### 【趣味サークル】

季節の果物、苺を使った大福作り挑戦!あんを求肥で包む作業に悪戦苦闘しましたが、楽しい時間でした♪



### 【トンボの会】

初回の活動は和紙作り(紙漉き)をしました。原料の楮(こうぞ)に触れる貴重な体験をし、ビーズやスパンコールで明るく華やかな和紙が完成しました。

※お菓子作りは会食せず、出来上がりを持ち帰っています



# はあとある Voice (当事者の声)

## 農福連携 ～リンゴ園で働く 大変さと喜び～

今号のはあとあるVoiceは、宮古市崎ヶ崎でリンゴ園「南澤果樹園」を経営する山崎さん親子と、作業に取り組む就労継続支援B型事業所ジョブ・パートナー山田の利用者の皆さまにお話をうかがいました。

農福連携をテーマに平成29年に行われた、宮古圏域自立支援協議会・生活支援部会の「チャレンジドフォーラム」に参加された山崎さん親子は、翌年秋からジョブ・パートナー山田と請負契約を結び今日に至ります。ジョブ・パートナー山田は、週3日南澤果樹園に利用者5名・職員3名で施設外就労をしています。

○南澤果樹園・山崎慎弥さん：園主である父も新しいことに挑戦することが好きで、障がいをお持ちの方の受け入れにも積極的でしたので、平成30年から受け入れを開始しています。



作業内容は分かりやすいようにかみ砕いて説明するよう心がけています。それは、障がい者も健常者も同じです。仕事は面白くないと続かないので、今行っている作業の重要性や、これからのように繋がっていくのか説明します。利用者の皆さんから色々質問を受けますが、それは逆に私たちの勉強にもなります。(ジョブ・パートナー山田の皆さま)

んには)長く続けて欲しいですし、年々作業効率も良くなりレベルアップしています。農福連携は発展途上だと考えます。他の農家さんたちも、新しい働き手として考えてみてほしいのではと思います。

○利用者U・Nさん：南澤果樹園に施設外就労に来るようになって3年くらい経ちます。夏は暑いし日焼けもするし、冬は寒いし、正直大変です。でも、今日のように天気の良い日は気持ちよく作業が出来ます。自分で手をかけたリンゴが大きくなると嬉しいです！

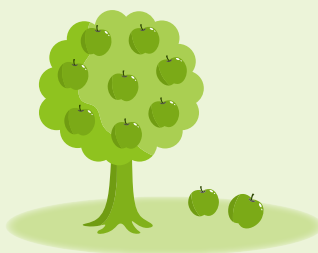
○利用者N・Hさん：作業には慣れてきました。外作業は好きです。体を動かす作業は苦になりません。室内で同じ作業をしていると煮詰まってくるので。(摘果の作業も細かいし判断が難しいくないですか?)焦らず、ゆっくり、丁寧に作業するのを心がけています。

○ジョブ・パートナー山田竹内サービス管理責任者：一年を通じての作業があります。摘花や葉取りなどから始まり、実がなり大きくなる。大きくなったらリンゴを収穫する。その過程を実感しながら作業をすることが出来るのは、利用者の皆さんの喜びややりがいに繋がっていると思います。



山崎慎弥さん

山崎安人さん



# なんでも KEIJIBAN

## 令和4年度 地域懇談会・権利擁護セミナー (出張)

宮古圏域の各市町村を会場に、地域懇談会・権利擁護セミナー (出張) を開催いたします。

●日時：会場

◇岩泉町  
日時：9月30日(金) 午後1時～3時  
会場：岩泉町小川生活改善センター

◇山田町  
日時：10月7日(金) 午前10時～12時  
会場：山田町公民館 (小ホール)  
●対象者：関係者、当事者、家族、興味がある方

●内容：権利擁護に関する寸劇DVD上映です。金銭管理・成年後見制度に関する内容となっております。DVDの中では各制度の解説も行なっています。

◇田野畑村  
日時：10月上旬  
会場：田野畑中学校  
内容：講演・実演《であい授業》  
るんびにい美術館からのLive中継をZoom配信。  
講師：アーティスト 小林覚氏、アートディレクター 板垣崇志氏

## 宮古圏域チャレンジドフォーラム

●日時：12月上旬  
●会場：未定  
●内容：中間的就労について  
●講師：鈴木 拓 氏  
●対象者：関係者、当事者、家族、興味がある方

## 宮古圏域障がい者自立支援協議会研修会「地域生活支援セミナー」

●日時：10月21日(金) 午後1時30分～3時30分  
●会場：シートピアなあと  
●内容：「地域一体となって障がい者を支えるためには」

●講師：公立大学法人 山形県立保健医療大学 大学院保健医療学研究科 教授 安保 寛明 氏  
●対象者：関係者、当事者、家族、興味がある方  
●定員：50名

## 宮古圏域発達支援セミナー

●日時：9月24日(土)  
●会場：社会福祉法人若竹会 新たな郷わかたけ (多目的ホール)  
●内容：講演会・事例検討会  
テーマ「行動障がいを支援する」



講師  
社会福祉法人はるにの里 自閉症者地域生活支援センター 主任 加藤 潔 氏

## 自立支援協議会研修会

●日時：12月3日(土) 午後1時～  
●会場：イーストピアみやこ  
●内容：講演 (内容未定)  
●講師：筑波大学医学医療系社会精神保健学 教授 斎藤 環 氏

## はあとふるフェスタ2022

●日時：11月11日～13日 (映画上映は12日・13日)

●会場：イーストピアみやこ  
●内容：①障がい者アート作品展  
②映画上映会「星に語りて」

字幕・音声ガイド・手話通訳付き  
映画上映時間については事務局にお問い合わせください。



お知らせ  
記載しております各種セミナーは、新型コロナウイルスの感染状況に応じて延期もしくは中止となる場合がございます。あらかじめご了承いただきますようお願いいたします。

●問い合わせ先 レインボーネット事務局  
TEL 0193-64-7878  
FAX 0193-77-3921

## 編集後記

今回の発行にあたり、関わってくれた方々には有り難いという思いでありました。その中で、有り難いとは「有ることが難しい」ということで、本来は「他人から何かしてもらう」とは滅多にない有り難いこと。だから、だいたい前に学校で習った記憶があります。それでは今日も誰かに「ありがとう」と言ってみようと思います。

農福連携の取材に行かせていただきました。当日は天気も良く最高の取材日和！広い果樹園内を軽トラの荷台に乗って移動、斜面を下る時はちょっとしたアドベンチャー体験でした！またお邪魔したいなあ。

「まいわやさん」という言葉を存じずかか。「[五]」「[三]」「[二]」「[一]」「[わ]」「[か]」「[め]」「[の]」「[野]」「[菜]」「[の]」「[魚]」「[の]」「[し]」「[い]」「[た]」「[け]」「[い]」「[の]」「[羊]」の略で、和の食材の頭文字を覚えやすく語呂合わせにした言葉集のことです。私は苦手な日本語にも挑戦している最中です。ぜひ、おしく食べる方法を教えてください。(笑)

緑色の日に日に濃くなって、夏を感じさせる暑さの日もあります。鳥の声も色々聞こえてきて、活気を感じています。爽やかな季節を過ごせると梅雨入り。今年は早いかな。梅雨の季節を楽しく過ごす方法をぜひ皆さんから教えて頂きたいです。

かい いん ぼ しゅう  
**会員募集**

NPO法人  
レインボーネットの活動を  
応援して下さる方を  
募集しています。

かいん しゅらい ねんかひ  
会員の種類と年会費  
について

個人	正会員	1,000円
	賛助会員	500円
団体	正会員	5,000円
	賛助会員	1,000円

◆発行  
NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット (レインボーネット)  
岩手県宮古市緑ヶ丘2番5号  
はあとふるセンターみやこ  
TEL 0193-64-7878  
FAX 0193-77-3921  
E-mail info@rainbow.com  
URL http://www.rainbow.com/

◆発行責任者 会長 川屋 裕之  
◆企画・編集  
レインボーネット事務局